

ワーク 2

日経平均

1990～1999年

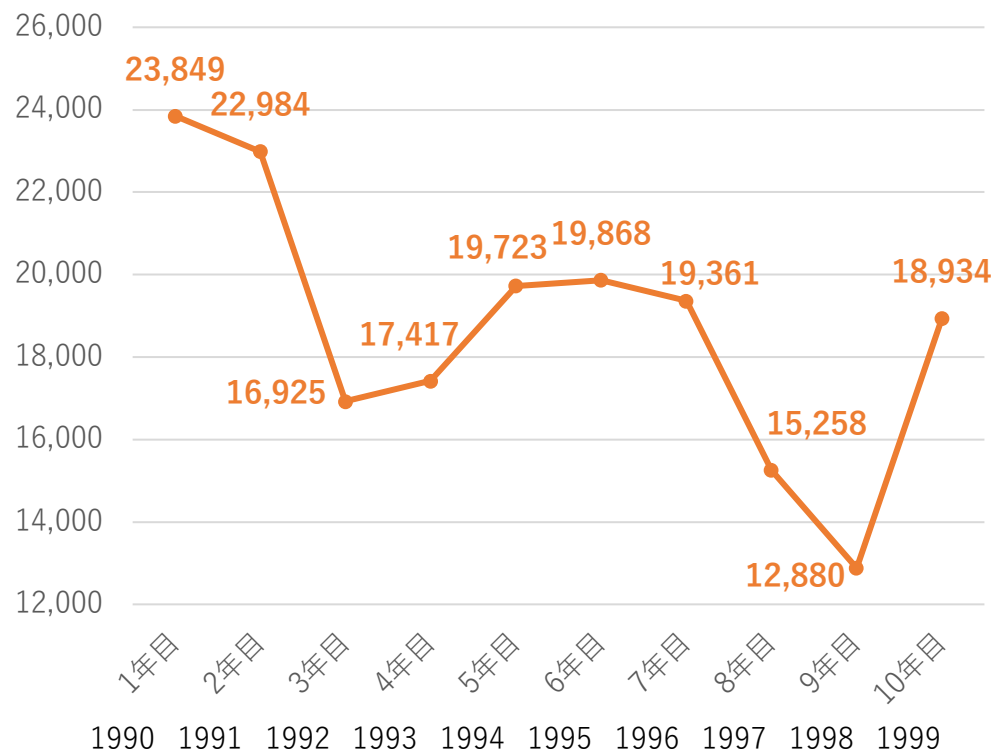


【ワーク 2】 1990年～1999年 日経平均チャート

【チャート解説】

当時の金融緩和政策により、日経平均が1989年に史上最高値の3万8,915円（当時）を出しました。しかし、そこで進行していた資産価値や地価の上昇は持続的なものではなく、1991年にバブルが崩壊します。また、1997年にアジア通貨危機が発生、景気は更に悪化します。その後には当時の四大証券会社のひとつであった山一証券が破綻。銀行の貸し渋りと金融システム不安がピークに達した1998年10月に、日経平均は1万2,880円まで下がりました。

このチャートの特徴は基本的には右肩下がりですから、一括投資の場合は10年後に売却すれば損失を出してしまう波形です。さて、分散投資の場合だとどうなるのでしょうか？ 次のワークで学んでいきましょう。



バブル崩壊

阪神淡路大震災

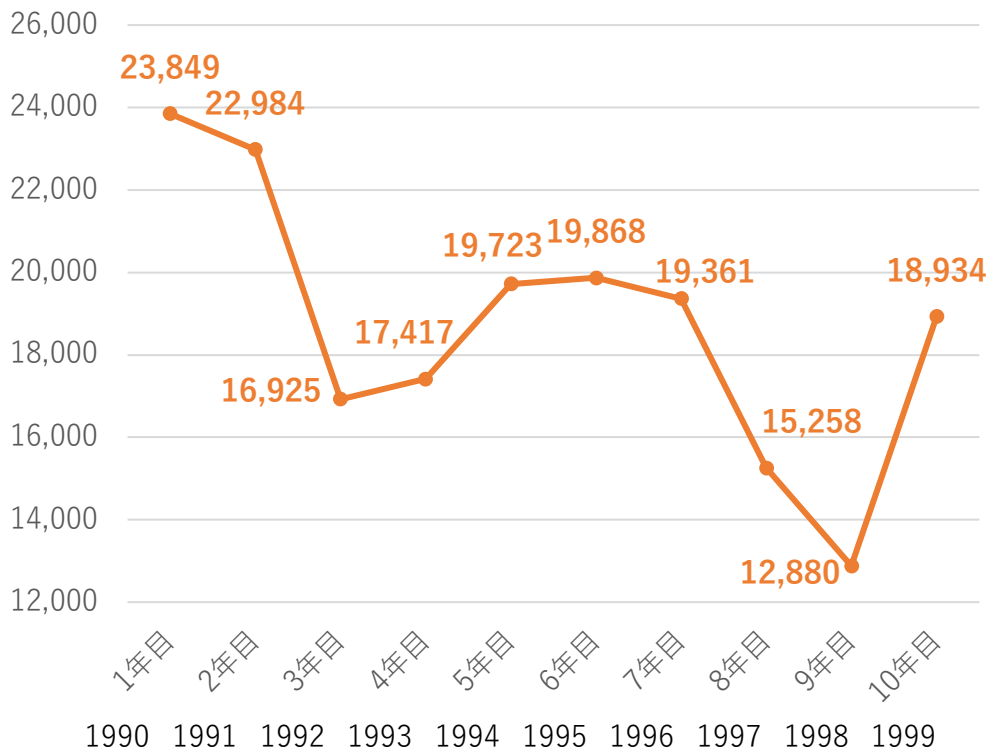
アジア通貨危機



(注) 東京証券取引所225種の平均株価。主要事件等は東京新聞2008.10.28などによる。
(資料) 日銀HP、日経平均資料室HPIほか

【ワーク 2】 1990年 ~ 1999年 日経平均チャート

株価



Q.100万円は10年後に いくらになるでしょう？

① 49万円

③ 67万円

② 59万円

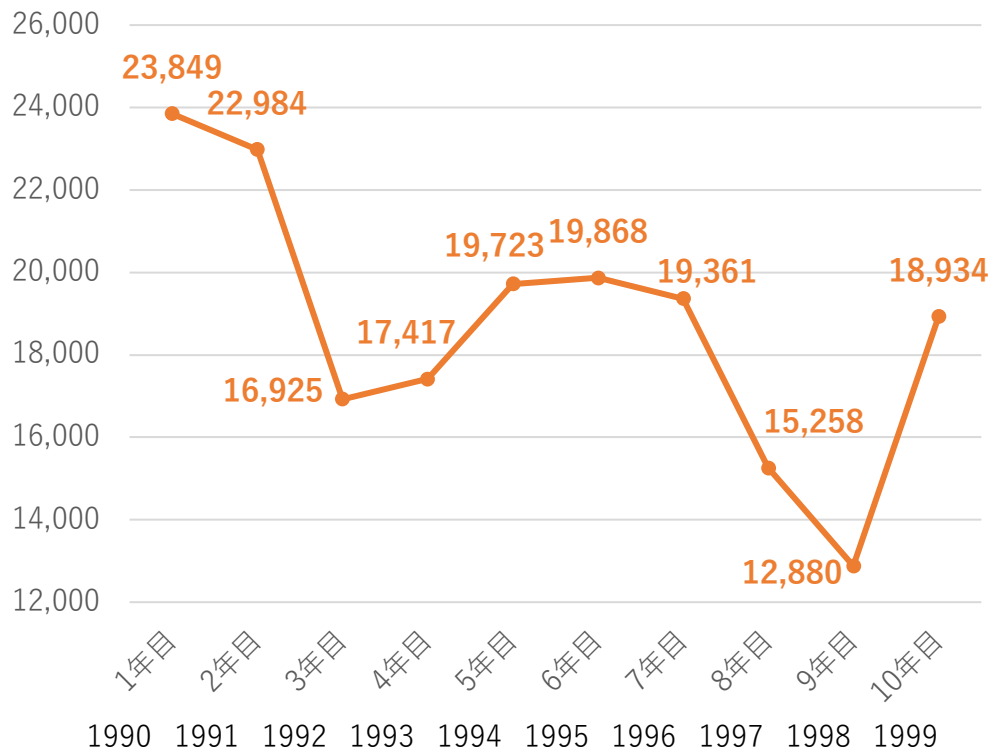
④ 104万円

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
1 株価	23,849	22,984	16,925	17,417	19,723	19,868	19,361	15,258	12,880	18,934
2 投資額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
3 投資額 (累積)	100,000	200,000	300,000	400,000	500,000	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000
4 (2÷1) 購入株数	4	4	6	6	5					
5 購入株数 (累積)	4	8	14	20	25					
6 (1×5) 売却額	95,396	183,872	236,950	348,340	493,075					
7 (6-3) 損益結果	-4,604	-16,128	-63,050	-51,660	-6,925					

← 小数点は四捨五入

【ワーク 2】 1990年 ~ 1999年 日経平均チャート

株価



Q.100万円は10年後に
いくらになるでしょう？

【答え】④

104万円

積立で持株が増えたことで、株価の
値下がりに対して持ち直している…！

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
1 株価	23,849	22,984	16,925	17,417	19,723	19,868	19,361	15,258	12,880	18,934
2 投資額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
3 投資額 (累積)	100,000	200,000	300,000	400,000	500,000	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000
4 (2÷1) 購入株数	4	4	6	6	5	5	5	7	8	5
5 購入株数 (累積)	4	8	14	20	25	30	35	42	50	55
6 (1×5) 売却額	95,396	183,872	236,950	348,340	493,075	596,040	677,635	640,836	644,000	1,041,370
7 (6-3) 損益結果	-4,604	-16,128	-63,050	-51,660	-6,925	-3,960	-22,365	-159,164	-256,000	41,370

← 小数点は四捨五入